

Cisco 4500 と 4700 シリーズ ルータの ROMmon リカバリ

目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[フラッシュでの有効なイメージの検索](#)

[ブート イメージと Trivial File Transfer Protocol \(TFTP \) サーバを使用したダウンロード](#)

[関連情報](#)

概要

このページでは、4500 および 4700 シリーズ ルータが ROMmon (rommon# >プロンプト) にスタックした際の、回復手順を説明します。

[はじめに](#)

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

[前提条件](#)

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

[使用するコンポーネント](#)

この文書に記載されている情報は下記のようにハードウェアバージョンに基づいています:

- Cisco 4500 および 4700 シリーズ ルータ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

[フラッシュでの有効なイメージの検索](#)

次に示す手順に従ってください。

1. **dev** コマンドを発行して、ルータ上で使用可能なデバイスを確認します。rommon 1 > **dev**
Devices in device table: id name flash: flash bootflash: boot flash eprom: eprom rommon 2 >
2. **dir flash:** 命じ、次に Cisco 有効な IOS® ソフトウェア イメージを探して下さい:rommon 3 >
dir flash: File size Checksum File name 8052512 bytes (0x7adf20) 0xc7b6 c4500-js-mz.121-6
rommon 4 > また **dir bootflash** を使用できます: 有効なブートイメージのためのブートフラッシュを検査するために命じて下さい。
3. そのイメージからのブートを試みます。そのファイルが有効ならば、正常動作モードに戻ります。rommon 5 > **boot flash:c4500-js-mz.121-6** program load complete, entry point:
0x80008000, size: 0x7ade04 Self decompressing the image :

#####
4. flash上に有効なファイルが無かった場合には、システムイメージをダウンロードし直す必要があります。主要なCisco IOSソフトウェアが削除された、あるいは破損した Cisco 4500 および 4700シリーズ・ルータでイメージをインストールする方法が一つだけあります: ルータのブートイメージを使用して下さい。

[ブート イメージと Trivial File Transfer Protocol \(TFTP \) サーバを使用したダウンロード](#)

このに関する詳細な使用説明書に関しては手順は[ブートイメージの TFTP を使用して ROMmon からアップグレードする方法](#)を、見ます。

メイン イメージおよびブート イメージの両方が壊れている、あるいは削除されている場合には、システムを回復する簡単な方法はありません。RMA 処理を行う以外には、有効なブート イメージおよびメインのCisco IOS Software がインストールされている他の4500 あるいは、4700 ルータからフラッシュ SIMM 取り外して交換するという方法しかありません。

[関連情報](#)

- [4000 シリーズ ルータ サポートページ](#)
- [Cisco IOS テクニカルサポートページ](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)